

連絡先 自動車局審査・リコール課リコール監理室  
 TEL 03-5253-8111 内線42354  
 アドレス <http://www.mlit.go.jp>

改善対策届出一覧表

改善対策届出日：平成31年 1月17日

改善対策届出番号	569	改善対策開始日	平成31年 1月18日
届出者の氏名又は名称	スズキ株式会社 代表取締役社長 鈴木 俊宏 問い合わせ先：お客様相談室 TEL 0120-402-253		
不具合の部位(部品名)	原動機(クランクシャフト)		
不具合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	クランクシャフトの発電機ロータ取付部のテーパ加工が不適切なため、当該クランクシャフトと発電機ロータが正しく嵌合していないものがある。そのため、エンジン回転時にクランクシャフトの発電機ロータ位置決めキー溝に過大な荷重がかかり、最悪の場合、クランクシャフトが破損し、走行中にエンストに至るおそれがある。		
改善対策の内容	全車両、クランクシャフトの発電機ロータ取付部(テーパ部)表面の摩耗を点検し、許容以上の摩耗が認められる場合は、クランクシャフトを良品に、発電機ロータを新品に交換する。 摩耗が許容内である場合は、テーパ形状を測定し、テーパ形状が不適切なものは、発電機ロータをクランクシャフトのテーパ形状に合わせた対策品に交換する。 なお、車台番号によりクランクシャフトのテーパ形状が不適切であることが明白な車両は、テーパ形状測定を行わず、発電機ロータを対策品に交換する。		
不具合の件数	34件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者への周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・使用者：ダイレクトメールまたは電話等で通知する。</li> <li>・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。</li> <li>・改善実施済車には、その旨を点検整備記録簿に記載する。</li> </ul>		

車名	型式	通称名	改善対策対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	改善対策対象車の台数	備考
スズキ	EBJ-CE47A	「アドレス110」	CE47A-103377～CE47A-107092 平成27年6月19日～平成28年4月12日	2,223	
			CE47A-118196～CE47A-131400 平成28年7月13日～平成29年8月28日	9,096	
	2BJ-CE47A		CE47A-131934～CE47A-135011 平成30年4月16日～平成30年10月23日	26	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成27年6月19日～平成30年10月23日	(計11,345台)	

車両製造後、修理で対象となる部品が組付けられた車両

車名	型式	通称名	改善対策対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲	改善対策対象車の台数	備考
スズキ	EBJ-CE47A	「アドレス110」	CE47A-100600～CE47A-130677	68	
			合計	(計68台)	

【注意事項】改善対策対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。

交換修理用部品として出荷し、組付けられた車両が特定できないもの

対象の製品名	部品番号	対象部品の出荷期間	対象数	備考
クランクシャフトアッシ	12200-09JB0 12200-09JD0 12200-09JD1	平成27年5月5日～平成30年3月7日	108	
			合計	(計108個)

交換修理用部品が組み付けられた車両は、同様の改善を実施する。